沖縄県がん診療連携協議会

沖縄県がん対策関連データ
アップデート

2020年8月7日

埴岡健一

001

はじめに

趣旨

- 沖縄県では、がん対策のPDCAサイクルを回していく方針。
- がん対策の「ロジックモデルと評価指標」を使って評価を行う方針。
- そのための指標の一部でアップデートされているものをいくつかピックアップし、数値を確認する。
- 沖縄県のがん対策の中間評価作業、定点観測指標集作成の一助となれば...

目次

1. 大腸がん関連データアップデート

ア：5年生存率（県）

イ：病期別5年生存率（県）

ウ：病期別生存率（施設）

エ：拠点病院カバー率（県）

オ：拠点病院カバー率（施設）

2. 罹患率（子宮頸がん、乳がん、白血病...）

3. 拠点病院カバー率（肺がん、乳がん...）

○その他

- ・奈良県の患者向け医療機関選択参考情報提供
- ・奈良県の地域別がん対策向上プロジェクト

1. 大腸がん 関連データアップデート

大腸がんの動向への関心

- 治療成績は向上しているのか？
 - 全国と比べてどうか？
 - 沖縄県データの経年変化は？
 - 全国との差の推移は？
- 診療提供体制は、高まっているのか？

データセットによって抽出された課題候補〔検証・検討が必要〕

詳細はバックデータを参照〔ページ数が赤字に着目〕

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標	予防対策	指標
			<柱6>
			<柱6>

罹患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

死亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標	早期発見対策	指標
			<柱7>
			<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

生存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

個別施策	指標	医療の質対策	指標
			<柱8>
			<柱8>

治療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

イ：地域の病期別の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

ウ：拠点病院カバー率
『2017年 院内がん登録におけるがん登録割合』

エ：拠点病院カバー率
『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

ア： 地域の5年生存率

『全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告』

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者	対象者	5年相对	5年相对	標準誤	標準誤	対象者	対象者	5年相对	5年相对	標準誤	標準誤	
	数	数	生存率	生存率	差	差	数	数	生存率	生存率	差	差	
大腸	限局	22,825	668	97.1	96.0	0.3	1.7	16,037	430	97.5	94.4	0.3	2.0
	領域	14,899	493	75.7	75.2	0.5	2.4	12,597	332	74.8	73.1	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	18.2	14.8	0.4	2.1	7,830	173	16.2	14.6	0.4	2.8
	不明	3,633	126	52.3	50.5	1.0	5.1	3,047	64	45.1	28.9	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	72.4	70.2	0.3	1.4	39,511	999	70.1	69.5	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	98.3	94.8	0.4	2.3	11,147	312	98.1	95.4	0.4	2.4
	領域	8,679	313	76.9	75.3	0.6	3.1	8,892	256	75.1	74.7	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	17.3	14.5	0.5	2.7	5,802	128	14.9	13.9	0.5	3.2
	不明	2,116	62	51.1	44.7	1.3	7.2	2,050	46	42.5	30.3	1.3	7.5
	合計	30,763	999	72.8	70.2	0.3	1.8	27,891	742	69.4	70.9	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	95.3	95.1	0.5	2.5	4,890	118	96.4	88.7	0.5	3.8
	領域	6,220	180	74.0	75.1	0.7	3.9	3,705	76	73.9	68.2	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	19.7	15.3	0.7	3.6	2,028	45	19.8	16.5	0.9	5.7
	不明	1,517	64	53.9	56.2	1.5	7.3	997	18	50.3	25.4	1.8	11.2
	合計	20,503	603	71.7	70.3	0.4	2.2	11,620	257	71.9	65.7	0.5	3.3

所見例

- ・ 合計5年生存率は、地域の生存状況を示している。ただし、“治療力”の他に、病期構成割合の影響も受ける。
- ・ 5年生存率（県）の数値
 - 大腸がん・男が低い
 - 結腸がん・男が低い
 - 直腸がん・女が低い

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相对 生存率	5年相对 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相对 生存率	5年相对 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
	大腸	限局	24,443	335	96.8	96.5	0.3	2.4	16,949	207	96.3	92.9	0.3
	領域	15,515	182	72.1	61.1	0.5	4.2	12,675	123	72.1	69.8	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	16.3	13.2	0.4	2.8	7,531	89	15.1	11.9	0.4	2.2
	不明	9,120	85	66.2	44.5	0.6	6.3	6,802	50	59.4	44.5	0.7	5.0
	合計	58,744	776	72.2	63.5	0.2	2.1	44,020	469	69.6	66.7	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	98.2	96.1	0.4	3.1	11,742	153	96.5	90.6	0.4	2.4
	領域	8,905	112	74.5	57.8	0.6	5.5	8,775	97	73.0	71.2	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	15.5	10.8	0.5	3.2	5,462	67	14.6	11.6	0.5	2.6
	不明	5,424	42	69.1	43.7	0.8	9.4	4,678	32	58.6	39.6	0.8	6.9
	合計	35,272	476	73.8	63.3	0.3	2.7	30,703	349	69.3	66.0	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	94.7	95.6	0.5	3.7	5,207	54	95.8	99.2	0.5	2.9
	領域	6,610	70	68.9	66.0	0.7	6.5	3,900	26	70.3	64.2	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	17.6	17.0	0.7	4.9	2,069	22	16.5	11.8	0.9	4.2
	不明	3,696	43	62.0	44.9	1.0	8.5	2,124	18	61.1	53.4	1.2	7.4
	合計	23,472	300	69.9	63.7	0.4	3.3	13,317	120	70.3	68.8	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	-0.5	92.9	94.4	1.5
	領域	61.1	75.2	14.1	69.8	73.1	3.3
	遠隔	13.2	14.8	1.6	11.9	14.6	2.7
	不明	44.5	50.5	6.0	44.5	28.9	-15.6
	合計	63.5	70.2	6.7	66.7	69.5	2.8
結腸	限局	96.1	94.8	-1.3	90.6	95.4	4.8
	領域	57.8	75.3	17.5	71.2	74.7	3.5
	遠隔	10.8	14.5	3.7	11.6	13.9	2.3
	不明	43.7	44.7	1.0	39.6	30.3	-9.3
	合計	63.3	70.2	6.9	66.0	70.9	4.9
直腸	限局	95.6	95.1	-0.5	99.2	88.7	-10.5
	領域	66.0	75.1	9.1	64.2	68.2	4.0
	遠隔	17.0	15.3	-1.7	11.8	16.5	4.7
	不明	44.9	56.2	11.3	53.4	25.4	-28.0
	合計	63.7	70.3	6.6	68.8	65.7	-3.1

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移 全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県									
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分									
大腸	限局	96.8	96.5	0.3	97.1	96.0	1.1	96.3	92.9	3.4	97.5	94.4	3.1
	領域	72.1	61.1	11.0	75.7	75.2	0.5	72.1	69.8	2.3	74.8	73.1	1.7
	遠隔	16.3	13.2	3.1	18.2	14.8	3.4	15.1	11.9	3.2	16.2	14.6	1.6
	不明	66.2	44.5	21.7	52.3	50.5	1.8	59.4	44.5	14.9	45.1	28.9	16.2
	合計	72.2	63.5	8.7	72.4	70.2	2.2	69.6	66.7	2.9	70.1	69.5	0.6
結腸	限局	98.2	96.1	2.1	98.3	94.8	3.5	96.5	90.6	5.9	98.1	95.4	2.7
	領域	74.5	57.8	16.7	76.9	75.3	1.6	73.0	71.2	1.8	75.1	74.7	0.4
	遠隔	15.5	10.8	4.7	17.3	14.5	2.8	14.6	11.6	3.0	14.9	13.9	1.0
	不明	69.1	43.7	25.4	51.1	44.7	6.4	58.6	39.6	19.0	42.5	30.3	12.2
	合計	73.8	63.3	10.5	72.8	70.2	2.6	69.3	66.0	3.3	69.4	70.9	-1.5
直腸	限局	94.7	95.6	-0.9	95.3	95.1	0.2	95.8	99.2	-3.4	96.4	88.7	7.7
	領域	68.9	66.0	2.9	74.0	75.1	-1.1	70.3	64.2	6.1	73.9	68.2	5.7
	遠隔	17.6	17.0	0.6	19.7	15.3	4.4	16.5	11.8	4.7	19.8	16.5	3.3
	不明	62.0	44.9	17.1	53.9	56.2	-2.3	61.1	53.4	7.7	50.3	25.4	24.9
	合計	69.9	63.7	6.2	71.7	70.3	1.4	70.3	68.8	1.5	71.9	65.7	6.2

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

所見例

- 経年推移にも、着目する必要がある。
- 前回調査から下がった項目は、直腸がん・女。
- 前回調査から全国値と比べて悪化した項目は、直腸がん・女。

イ： 地域の病期別の5年生存率

『全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告』

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者	対象者	5年相对	5年相对	標準誤	標準誤	対象者	対象者	5年相对	5年相对	標準誤	標準誤	
	数	数	生存率	生存率	差	差	数	数	生存率	生存率	差	差	
大腸	限局	22,825	668	97.1	96.0	0.3	1.7	16,037	430	97.5	94.4	0.3	2.0
	領域	14,899	493	75.7	75.2	0.5	2.4	12,597	332	74.8	73.1	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	18.2	14.8	0.4	2.1	7,830	173	16.2	14.6	0.4	2.8
	不明	3,633	126	52.3	50.5	1.0	5.1	3,047	64	45.1	28.9	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	72.4	70.2	0.3	1.4	39,511	999	70.1	69.5	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	98.3	94.8	0.4	2.3	11,147	312	98.1	95.4	0.4	2.4
	領域	8,679	313	76.9	75.3	0.6	3.1	8,892	256	75.1	74.7	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	17.3	14.5	0.5	2.7	5,802	128	14.9	13.9	0.5	3.2
	不明	2,116	62	51.1	44.7	1.3	7.2	2,050	46	42.5	30.3	1.3	7.5
	合計	30,763	999	72.8	70.2	0.3	1.8	27,891	742	69.4	70.9	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	95.3	95.1	0.5	2.5	4,890	118	96.4	88.7	0.5	3.8
	領域	6,220	180	74.0	75.1	0.7	3.9	3,705	76	73.9	68.2	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	19.7	15.3	0.7	3.6	2,028	45	19.8	16.5	0.9	5.7
	不明	1,517	64	53.9	56.2	1.5	7.3	997	18	50.3	25.4	1.8	11.2
	合計	20,503	603	71.7	70.3	0.4	2.2	11,620	257	71.9	65.7	0.5	3.3

所見例

- ・ 病期別5年生存率は、地域の“治療力”を反映している可能性がある。
- ・ 病期別5年生存率（県）の数値
 - 大腸がん・男・遠隔が低い
 - 大腸がん・女・限局が低い
 - 結腸がん・男・限局が低い
 - 直腸がん・男・遠隔が低い
- ・ 数字が悪い項目は、確認が必要。

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相对 生存率	5年相对 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相对 生存率	5年相对 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
	大腸	限局	24,443	335	96.8	96.5	0.3	2.4	16,949	207	96.3	92.9	0.3
	領域	15,515	182	72.1	61.1	0.5	4.2	12,675	123	72.1	69.8	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	16.3	13.2	0.4	2.8	7,531	89	15.1	11.9	0.4	2.2
	不明	9,120	85	66.2	44.5	0.6	6.3	6,802	50	59.4	44.5	0.7	5.0
	合計	58,744	776	72.2	63.5	0.2	2.1	44,020	469	69.6	66.7	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	98.2	96.1	0.4	3.1	11,742	153	96.5	90.6	0.4	2.4
	領域	8,905	112	74.5	57.8	0.6	5.5	8,775	97	73.0	71.2	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	15.5	10.8	0.5	3.2	5,462	67	14.6	11.6	0.5	2.6
	不明	5,424	42	69.1	43.7	0.8	9.4	4,678	32	58.6	39.6	0.8	6.9
	合計	35,272	476	73.8	63.3	0.3	2.7	30,703	349	69.3	66.0	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	94.7	95.6	0.5	3.7	5,207	54	95.8	99.2	0.5	2.9
	領域	6,610	70	68.9	66.0	0.7	6.5	3,900	26	70.3	64.2	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	17.6	17.0	0.7	4.9	2,069	22	16.5	11.8	0.9	4.2
	不明	3,696	43	62.0	44.9	1.0	8.5	2,124	18	61.1	53.4	1.2	7.4
	合計	23,472	300	69.9	63.7	0.4	3.3	13,317	120	70.3	68.8	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	-0.5	92.9	94.4	1.5
	領域	61.1	75.2	14.1	69.8	73.1	3.3
	遠隔	13.2	14.8	1.6	11.9	14.6	2.7
	不明	44.5	50.5	6.0	44.5	28.9	-15.6
	合計	63.5	70.2	6.7	66.7	69.5	2.8
結腸	限局	96.1	94.8	-1.3	90.6	95.4	4.8
	領域	57.8	75.3	17.5	71.2	74.7	3.5
	遠隔	10.8	14.5	3.7	11.6	13.9	2.3
	不明	43.7	44.7	1.0	39.6	30.3	-9.3
	合計	63.3	70.2	6.9	66.0	70.9	4.9
直腸	限局	95.6	95.1	-0.5	99.2	88.7	-10.5
	領域	66.0	75.1	9.1	64.2	68.2	4.0
	遠隔	17.0	15.3	-1.7	11.8	16.5	4.7
	不明	44.9	56.2	11.3	53.4	25.4	-28.0
	合計	63.7	70.3	6.6	68.8	65.7	-3.1

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移 全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県									
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分									
大腸	限局	96.8	96.5	0.3	97.1	96.0	1.1	96.3	92.9	3.4	97.5	94.4	3.1
	領域	72.1	61.1	11.0	75.7	75.2	0.5	72.1	69.8	2.3	74.8	73.1	1.7
	遠隔	16.3	13.2	3.1	18.2	14.8	3.4	15.1	11.9	3.2	16.2	14.6	1.6
	不明	66.2	44.5	21.7	52.3	50.5	1.8	59.4	44.5	14.9	45.1	28.9	16.2
	合計	72.2	63.5	8.7	72.4	70.2	2.2	69.6	66.7	2.9	70.1	69.5	0.6
結腸	限局	98.2	96.1	2.1	98.3	94.8	3.5	96.5	90.6	5.9	98.1	95.4	2.7
	領域	74.5	57.8	16.7	76.9	75.3	1.6	73.0	71.2	1.8	75.1	74.7	0.4
	遠隔	15.5	10.8	4.7	17.3	14.5	2.8	14.6	11.6	3.0	14.9	13.9	1.0
	不明	69.1	43.7	25.4	51.1	44.7	6.4	58.6	39.6	19.0	42.5	30.3	12.2
	合計	73.8	63.3	10.5	72.8	70.2	2.6	69.3	66.0	3.3	69.4	70.9	-1.5
直腸	限局	94.7	95.6	-0.9	95.3	95.1	0.2	95.8	99.2	-3.4	96.4	88.7	7.7
	領域	68.9	66.0	2.9	74.0	75.1	-1.1	70.3	64.2	6.1	73.9	68.2	5.7
	遠隔	17.6	17.0	0.6	19.7	15.3	4.4	16.5	11.8	4.7	19.8	16.5	3.3
	不明	62.0	44.9	17.1	53.9	56.2	-2.3	61.1	53.4	7.7	50.3	25.4	24.9
	合計	69.9	63.7	6.2	71.7	70.3	1.4	70.3	68.8	1.5	71.9	65.7	6.2

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

所見例

- 経年推移にも着目する必要がある。
- 前回調査から大きく下がった項目 直腸がん・女・限局。
- 前回調査から全国値と比べて悪化した項目 男大腸がん・男・限局、結腸がん・男・限局、直腸がん男・限局、直腸がん・女・限局。
- 数値上で悪化している項目については確認が必要。

ウ： 拠点病院カバー率

『2017年 院内がん登録におけるがん登録割合』

大腸がん

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

院内がん登録 参加病院 (ん除く)

拠点病院

追加分 (参加病院－拠点病院)

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表7 都道府県別罹患数に占める院内がん登録全国集計参加病院登録割合、表9 都道府県罹患数に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん除く、診断時住所別）（国立がん研究センターがん対策情報センター）から作成

所見例

- 沖縄県の大腸がんの拠点病院カバー率（推計）は、全国で2番目に低い
- 沖縄県の全がんの拠点病院カバー率は、全国で2番目に低いが、参加病院の拠点病院カバー率は全国で2番目に高く、拠点病院以外の追加分が全国で最も高い。
- 地域がん登録の拡大によってカバー率を高めてきた。
- このような特色があるため、拠点病院以外の病院も含めて、地域の機能分化と連携など役割分担体制を議論することが、依然として重要と考えられる。

エ：
施設別カバー率
(集積/分散度)

『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

大腸がん 施設別 登録数の推移 (表)

	施設名	2014年	2014年	2015年	2015年	2016年	2016年	2017年	2017	2018年	2018年
		件数	シェア								
0	沖縄県18施設合計	1,677	100.0%	1,803	100.0%	1,824	100.0%	1,925	100.0%	1,913	100.0%
1	北部地区医師会病院	96	5.7%	89	4.9%	88	4.8%	96	5.0%	82	4.3%
2	国立病院機構沖縄病院	40	2.4%	36	2.0%	39	2.1%	46	2.4%	33	1.7%
3	県立中部病院	138	8.2%	166	9.2%	142	7.8%	163	8.5%	166	8.7%
4	中頭病院	209	12.5%	240	13.3%	211	11.6%	227	11.8%	275	14.4%
5	中部徳洲会病院	117	7.0%	135	7.5%	147	8.1%	125	6.5%	137	7.2%
6	ハートライフ病院	110	6.6%	101	5.6%	91	5.0%	93	4.8%	87	4.5%
7	那覇市立病院	131	7.8%	130	7.2%	142	7.8%	172	8.9%	146	7.6%
8	沖縄赤十字病院	72	4.3%	82	4.5%	95	5.2%	103	5.4%	113	5.9%
9	大浜第一病院	--	--	--	--	43	2.4%	55	2.9%	52	2.7%
10	浦添総合病院	175	10.4%	158	8.8%	200	11.0%	173	9.0%	148	7.7%
11	琉球大学医学部附属病院	109	6.5%	87	4.8%	74	4.1%	80	4.2%	67	3.5%
12	県立南部医療センター・こども医療センター	63	3.8%	98	5.4%	68	3.7%	79	4.1%	102	5.3%
13	南部病院	31	1.8%	40	2.2%	33	1.8%	22	1.1%	26	1.4%
14	南部徳洲会病院	76	4.5%	78	4.3%	89	4.9%	81	4.2%	95	5.0%
15	沖縄協同病院	63	3.8%	74	4.1%	71	3.9%	91	4.7%	77	4.0%
16	豊見城中央病院	149	8.9%	166	9.2%	150	8.2%	184	9.6%	192	10.0%
17	県立宮古病院	64	3.8%	67	3.7%	75	4.1%	82	4.3%	72	3.8%
18	県立八重山病院	34	2.0%	56	3.1%	66	3.6%	53	2.8%	43	2.2%
	平均症例数	93		100		101		107		106	

沖縄県大腸がん施設別症例数推移（症例数順累積症例数、2016-2018年）

出典：『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

症例数順	施設名	2016年	2017年	2018年
1	中頭病院	211	227	275
2	豊見城中央病院	150	184	192
3	県立中部病院	142	163	166
4	浦添総合病院	200	173	148
5	那覇市立病院	142	172	146
6	中部徳洲会病院	147	125	137
7	沖縄赤十字病院	95	103	113
8	県立南部医療センター・こども医療センター	68	79	102
9	南部徳洲会病院	89	81	95
10	ハートライフ病院	91	93	87
11	北部地区医師会病院	88	96	82
12	沖縄協同病院	71	91	77
13	県立宮古病院	75	82	72
14	琉球大学医学部附属病院	74	80	67
15	大浜第一病院	43	55	52
16	県立八重山病院	66	53	43
17	国立病院機構沖縄病院	39	46	33
18	南部病院	33	22	26

4 大腸がん 新選定要件（案）

以下の2項目を同時にすべて満たす施設とする

1 以下の項目が組織上明確に位置付けられた上で整備され、機能していること

- (1) キャンサーボード
- (2) がん薬物療法のレジメン審査・登録・管理委員会
- (3) 緩和ケアチーム
- (4) セカンドオピニオン
- (5) 院内がん登録に関する委員会
- (6) 医療安全管理に関する委員会

2019年5月13日、沖縄県がん診療連携協議会 資料12
「沖縄県におけるがん診療に関する種別専門医療機関の選定条件について」から

2 以下の項目のどちらかをすべて満たしていること

A 認定基準

- (1) 一般財団法人日本消化器病学会認定施設
- (2) 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
- (3) 結腸がんに対する手術が年 48 例以上ある施設
- (4) 直腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
- (5) 大腸がんに対する放射線治療が年 6 例以上ある施設。または適切に連携を取るにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施して、その放射線治療が年 6 例以上ある施設
- (6) 大腸がんに対する薬物療法が年 36 例以上ある施設

B 認定基準

- (1) 一般財団法人日本消化器病学会認定施設
- (2) 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
- (3) 結腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
- (4) 直腸がんに対する手術が年 12 例以上ある施設
- (5) 大腸がんに対する放射線治療が年 2 例以上ある施設。または適切に連携を取るにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施して、その放射線治療が年 2 例以上ある施設
- (6) 大腸がんに対する薬物療法が年 24 例以上ある施設

補足事項

- 1 選定要件は、今回と同じような方法で、毎年見直すこととする
- 2 第1項を満たすことができない場合には、平成 31 年度内にその整備を確約でき、沖縄県が年度内にその整備を確認することを受け入れることを条件に認定することとする。その際には、琉球大学医学部附属病院がんセンターが技術供与等も含めた助言をすることとする
- 3 第2項は、沖縄県により毎年行われる医療機能調査、全国がん登録および院内がん登録等の結果等を用いて、毎年選定施設の更新を行う
- 4 第2項における例数の規定は、全て最近 3 年間の平均値とする
- 5 放射線治療の例数には、緩和的放射線治療を含む
- 6 選定施設名の公開の際には、A 認定基準による施設、B 認定基準による施設を区別はせず公開する

2. 納得して治療を受けたい

(1) がん診療を行っている専門医療機関

沖縄県保健医療計画では、国の指定を受けたがん診療連携拠点病院をはじめ、がん種別の専門医の配置や手術療法、化学療法又は放射療法を組み合わせた集学的治療等を実施する医療機関を、専門的がん診療機関として位置づけています。連携拠点病院に関しては➡P70

※2013年4月改訂により専門的がん診療機関の変更が見込まれます。
最新の情報は、沖縄県医務課ホームページでご確認ください。
http://www.pref.okinawa.jp/imu_kokuho
※左メニューの「沖縄県保険医療計画」をクリック

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
県立北部病院	○	○	○	○	○	—	—
北部地区 医師会病院	○	○	○	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—
名嘉病院	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	○	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部 附属病院	○	○	○	○	○	○	○
宜野湾記念病院	—	—	○	—	—	—	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	○	○	—	○

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—
同仁病院	—	—	○	—	—	—	—
大浜第一病院	—	—	○	—	○	○	—
沖縄協同病院	—	—	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○
おもろまち メディカルセンター	—	—	○	—	—	—	—
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○
県立南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	○
県立宮古病院	—	—	○	—	—	—	—
県立八重山病院	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西 クリニック	—	—	—	—	○	—	—

その他のがん種の専門施設については、相談支援センターにお問合せください

➡P28

P18 (1) がん診療を行っている専門医療機関 (引用: <http://www.pref.okinawa.jp/site/fukushi/imu/iryoukeikaku.html>)

※沖縄県保健医療計画の改訂<第6次>に伴い、専門医療機関が下記のように変更になりました。(2013年4月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	放射線療法
北部地区医師会病院	—	○	—	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	—	—	○	—	—
中頭病院	—	○	○	○	○	○	—
ちばなクリニック	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○
沖縄病院	○	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	—	○	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	—	○	○	○	○
那覇市立病院	—	○	○	○	○	○	○
南部医療センター・こども医療センター	—	○	—	—	○	○	○
豊見城中央病院	—	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	—	—	—	—	○
Dr久高のマンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニックまかび	—	—	—	—	○	—	—

(4)がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
県がん診療連携拠点病院									
琉球大学医学部 附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院									
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
地域がん診療病院									
北部地区医師会病院	—	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
その他									
中部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—	○	—
沖縄病院	○	○	—	○	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	—	—	○

病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	—	○
マンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
KIN放射線治療 ・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	○

出典：沖縄県医療計画

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryouseisaku/kikaku/iryouseisaku.html>

医師の異動等に対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。ここに掲載されていない内容や最新情報は、沖縄県医療計画をご覧ください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 ➡ P24

(4)がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

(2019年11月現在)

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
県がん診療連携拠点病院													
琉球大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院													
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療病院													
北部地区医師会病院	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—
その他の医療機関													
沖縄県立北部病院	○	—	○	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
KIN放射線治療・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
中頭病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
同仁病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
おもろまちメディカルセンター	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
大浜第一病院	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
与那原中央病院	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—
南部医療センター・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄第一病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
宮古島徳洲会病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石垣島徳洲会病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—

出典：医療施設一覧（沖縄県保健医療部医療政策課ホームページ）
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/medicalfacilities3.html>

医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 → P22
 医療機関の連絡先 → P94

所見例①

- 大腸がん症例数の“集約”が起こっているとは数値上確認できない。
- 施策としては、「専門的施設の選定と公表」が方針となっている模様。
- 患者・住民への情報提供における施設数は、むしろ2013年の9施設から2020年の22施設に増えている。
- 現状の医療提供体制が最適配置と考えられるのか。
* なお、部位ごとに最適配置は異なると考えられる。

所見例②

「専門的施設の選定と公表」施策についての評価例

①整合性（セオリー）評価：医療の質の向上のため専門的施設の選定と公表という施策は、整合的である可能性が高い

②実行評価（プロセス）評価：選定作業は実施された。最終決定と公表・広報は？

③効果評価（インパクト）評価：施策に対する初期アウトカムである症例数構成にはまだ表れていない。施策の実行が完了していないので評価できない。

〔総合評価〕：施策の整合性は想定できるが、実行が完了していないので、急ぎ実行をした上でインパクト評価を行い、施策の効果を判定する必要がある。

罹患率（大腸がん、子宮 頸がん、乳がん、白血病...）

厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

都道府県別年齢調整罹患率

都道府県別罹患率

出典：厚生労働省『⁰⁵⁵全国がん登録罹患数・率報告2017』

都道府県別年齢調整罹患率

所見例

- 大腸がん・男 ワースト5→ワースト4
- 乳がん ワースト7→ワースト2
- 白血病・男 ワースト2→ワースト1
- 皮膚がん・女 ワースト2→ワースト1
- 罹患率が高い部位は対策や注視が必要。
- 乳がんについて。今後の推移と波及が懸念される。罹患率についてどう考えるか、見解と方針をまとめることが必要。乳がん診療の医療の質と体制を、がん診療連携協議会でどうマネジメントしていくのか、アジェンダに上げて検討することが必要ではないか。

拠点病院カバー率 (乳がん、肺がん...)

『2017年院内がん登録におけるがんの登録割合』

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

肝がん

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

所見例

- 部位別に見た沖縄県の拠点病院カバー率（推計）は、低い場合が多い
- 沖縄県の拠点病院カバー率は低いが、参加病院の拠点病院カバー率は高く、拠点病院以外の追加分が高いと見られ、これは、地域がん登録の拡大によってカバー率を高めてきた成果である。
- このような特性があるため、拠点病院以外の病院も含めて、地域の機能分化と連携など役割分担体制について、専門的医療機関の選定と公表と併せて、必要な対策を推進していくことが重要と考えられる。
- 特にカバー率が低い、乳がん、肺がんについての検討が必要ではないか。

参考

患者・住民向けの、施設選択参考情報の提供

おきなわ がん情報ネット
みるん・しるん

「ゆいまーる」の心でサポートする沖縄県がん情報サイト

平成28年度沖縄県委託事業

🔍 病院のがん治療状況について調べる 最終更新日 2017年03月09日

🏥 がん治療ができる病院をさがす **👤 がんの種類を部位からさがす** 🏢 がんの精密検査ができる施設をさがす

胸部	消化管	肝臓・胆のう・膵臓	泌尿器
<ul style="list-style-type: none">> 肺がん> 乳がん	<ul style="list-style-type: none">> 胃がん> 大腸がん	<ul style="list-style-type: none">> 肝がん> 膵がん	<ul style="list-style-type: none">> 前立腺がん
女性	血管・リンパ		
<ul style="list-style-type: none">> 乳がん> 子宮頸がん> 子宮体がん (子宮内膜がん)	<ul style="list-style-type: none">> 血液腫瘍 (悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、その他の造血器腫瘍)		

		2007年				2008年				2009年			
		対象 者数	相対 生存 率	標準 誤差	生死不 明割合	対象 者数	相対 生存 率	標準 誤差	生死不 明割合	対象 者数	相対 生存 率	標準 誤差	生死不 明割合
地方独立 行政法 人 那覇 市立病院	I期	16	96.1	6.9	0	14	-	-	14.3	18	92	8.1	0
	II期	29	82.4	9.4	0	14	-	-	14.3	14	86.9	13.1	0
	III期	15	64.7	14.3	0	32	79.5	9.9	9.4	25	80.5	9.5	0
	IV期	25	8.6	5.9	0	14	0	0	7.1	12	18	11.8	0
	不明	2	51.1	39.3	0	6	85	16.2	0	11	67.3	15.7	9.1
	全体	87	62.5	6	0	80	67.1	6.5	10	80	76.3	5.8	1.3

施設名	大腸がんの開腹手術件数	大腸がんの腹腔鏡下手術	大腸がんの内視鏡手術	大腸がんの化学療法	大腸がんの放射線療法
琉球大学医学部附属病院	2	12	2		
那覇市立病院	28	12	26		可
沖縄県立中部病院	5	16	11	可	可
沖縄県立宮古病院	11	1	0	可	不可
沖縄県立八重山病院	2	0	0	可	不可

出典元:厚生労働省がん診療連携拠点病院「現況報告書」よりⅦ患者数・診療件数の状況

(平成27年4月1日～7月31日) . 2015年10月提出

2017年01月31日集計

奈良県がん情報提供ポータルサイト

がんネットなら

検索

奈良で、みんなで。
「がん」について
共に考えていきましょう。

初めてこのサイトに来られた方
がん患者・ご家族の方・一般の方
医療関係・医療従事者の方

あなたのがんの種類から病院を探す(がんと初めて診断された方へ) 転移・再発の情報

肺がん	胃がん	大腸がん	肝臓がん
乳がん	子宮がん	前立腺がん	その他のがん 小児・AYA 世代がん

- ・ 患者の視線に合った遷移画面
- ・ 患者の関心に合った情報の一望性
- ・ 比較可能なデータ表示
- ・ 丁寧な解説とガイダンス
- ・ 患者関係者へのヒアリング会によって大幅改訂して公開

治療成績（5年生存率）、治療内訳件数、専門医数などが一望に概況表示

	患者数・治療件数					5年生存率						専門医	専門とするがんの診療状況						
	新入院 患者数 (人)	手術件数			放射線治療 (原発巣) (人)	5年実測生存率			5年相対生存率				消化器病 専門医 (人)	治療の実施			セカンドオピニオン		
		開腹 手術 (件)	腹腔鏡下 手術 (件)	内視鏡 手術 (件)		限局 (早期が ん)(%)	領域 (%)	遠隔 (進行が ん)(%)	限局 (早期が ん)(%)	領域 (%)	遠隔 (進行が ん)(%)	手術		放射線	薬物	手術	放射線	薬物	
奈良県立医科大学附属病院	239	8	46	38	26	83.5	68.8	25	92.8	79.6	27.1	39.2	○	○	○	○	○	○	
奈良県総合医療センター	210	53	70	83	16	92.3	66	-	98	72.7	-	5	○	○	○	○	○	○	
天理よろづ相談所病院	243	16	97	63	9	87.5	77	17.3	97.8	85.7	18.8	7	○	○	○	x	○	○	
近畿大学奈良病院	198	1	82	26	13	75.6	59.5	20	88.4	71.6	21.6	11	○	○	○	○	○	○	
市立奈良病院	277	17	44	28	1	84.2	57.6	-	96.7	69.2	-	11	○	○	○	○	○	○	
南奈良総合医療センター	83	※	※	※	※	-	-	-	-	-	-	7.1	○	△	○	○	△	○	
国保中央病院	84	※	※	※	※	-	-	-	-	-	-	3.3	○	△	○	○	x	○	
済生会中和病院	119	※	※	※	※	86.3	63.3	-	93.3	75.4	-	2	○	○	○	○	○	○	
大和高田市立病院	104	※	※	※	※	84.3	74.5	-	94.8	84.6	-	3.1	○	○	○	○	○	○	
対象期間、作成時点	2018年1月1日～12月31日 (平成30年1月1日～12月31日)					2011年～2012年 (平成23年～24年)						2019年9月1日時点 (令和元年9月1日時点)							
出典	現況報告書					地域がん登録						現況報告書							
その他のデータ	治療件数などの詳しいデータ（直近）はコチラ（※出典：現況報告書） 生存率等のデータ（2011～2015年集計）はコチラ（※出典：地域がん登録）																		

進行度別	全体						限局(早期がん)					領域					遠隔(進行がん)				
	対象者 数 (人)	5年実 測生存 率 (%)	5年相 対生存 率 (%)	95 % 信頼区 間	95 % 信頼区 間	生死不 明割合	対象者 数 (人)	5年実 測生存 率 (%)	5年相 対生存 率 (%)	95 % 信頼区 間	95 % 信頼区 間	対象者 数 (人)	5年実 測生存 率 (%)	5年相 対生存 率 (%)	95 % 信頼区 間	95 % 信頼区 間	対象者 数 (人)	5年実 測生存 率 (%)	5年相 対生存 率 (%)	95 % 信頼区 間	95 % 信頼区 間
8病院計	1,055	65	75.3	71.9	78.6	0.6	484	84.4	98	94.2	102	337	66.8	77.8	71.9	83.7	216	18.1	19.7	14.1	25.3
奈良県立医科大学附属病院	180	66.1	76.1	68.1	84.1	0	79	83.5	92.8	83.3	102	64	68.8	79.6	66.4	92.7	36	25	27.1	11.8	42.4
奈良県総合医療センター	128	65.6	75.6	66.1	85	0	52	92.3	98	89.3	107	47	66	72.7	57.4	87.9	28	-	-	-	-
天理よろづ相談所病院	219	67.7	77.2	70.1	84.3	0.9	104	87.5	97.8	90.4	105	63	77	85.7	73.7	97.7	52	17.3	18.8	7.6	30
近畿大学奈良病院	169	58.6	68.5	59.8	77.2	0	86	75.6	88.4	77.7	99.1	42	59.5	71.6	53.7	89.4	40	20	21.6	8.2	35
市立奈良病院	96	62.4	73.8	62.2	85.5	3.1	45	84.2	96.7	84	109	34	57.6	69.2	48.9	89.5	16	-	-	-	-
国保中央病院	32	50	66.6	43.4	89.9	0	15	-	-	-	-	10	-	-	-	-	7	-	-	-	-
済生会中和病院	109	66.7	77	66.7	87.4	0.9	52	86.3	93.3	82.4	104	30	63.3	75.4	54.9	95.9	19	-	-	-	-
大和高田市立病院	122	71.3	81.1	71.9	90.2	0	51	84.3	94.8	83.4	106	47	74.5	84.6	70.4	98.7	18	-	-	-	-
対象期間	2011年～2012年 (平成23年～24年)																				
出典	地域がん登録

参考

地域主導のがん対策PDCAサイクル管理の事例

奈良県
地域別がん対策見える化推進事業
報告書

2020年3月

ロジックモデルとデータを元に、地域の多様な立場が議論し、がん対策を振り返った上で、これから強化すべきことを自ら提案。地域主導のがん対策PDCAサイクルマネジメントの新しいかたち。

奈良県
令和元年度地域別がん対策見える化推進事業
— 提案書 —

【目的】

・データに基づきがん対策の傾向・課題を分析し、自治体との意見交換も踏まえ、地域の実情に応じた効果的ながん対策を提案するものです。

【概要】

・各種がん関連データを集計した中で、東和医療圏の胃がん・中和医療圏の肺がんを分析対象とし、東和医療圏については桜井市・田原本町を、中和医療圏については大和高田市・香芝市をモデルに、課題の明確化、具体的な対策案を整理しています。

【数値の取り扱いについて】

・集計結果を構成比で示しているものについては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計が100.0%にならない場合があります。

令和元年度 地域別がん対策見える化推進事業(概要)

◆目的

- ・各医療圏ごとに、各種がん関連データ(がん罹患率、死亡率、がん検診受診率、喫煙率、塩分摂取量等)を集計・分析し、地域の課題を明らかにするとともに、市町村に対し、効果的ながん対策の取組を提案する
- ・平成30年度の南和医療圏に続き、令和元年度は東和医療圏、中和医療圏で実施

◆分析から提案までの流れ

医療圏別のデータを集計・分析
ロジックモデルを活用して課題整理

モデル市町村において
データをもとに地域関係者と意見交換

効果的ながん対策
優先的に取り組む対策を提案

◆令和元年度明らかとなったこと(例)

医療圏	モデル市町村	医療圏ごとの最優先課題	要因となるデータの課題	課題についての地域の声	県からの効果的ながん対策の提案例
東和医療圏	桜井市 田原本町	胃がん の死亡・罹患が男女とも高い <small>標準化死亡率:男性116.5 女性116.0 標準化罹患率:男性120.0 女性123.6</small>	<ul style="list-style-type: none"> <早期発見> ・男性ではがんが進行してから発見されている割合が高い ・「病気で医師にかかっているから」とがん検診を受診しない割合が高い <生活習慣> ・高血圧症関連服薬者の割合が高い(国保被保険者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医に検査してもらっているから、がん検診もしてもらっていると思っていた ・食生活や健康づくり等に関する地域ボランティア活動が根付いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関と連携してがん検診の受診勧奨を行う ・ターゲットを絞った受診勧奨を行う ・地域ボランティアを活用し、食生活や健康づくり等に関する具体的な啓発活動を強化
中和医療圏	大和高田市 香芝市	肺がん の死亡・罹患が男女とも高い <small>標準化死亡率:男性112.5 女性107.7 標準化罹患率:男性110.0 女性105.1</small>	<ul style="list-style-type: none"> <早期発見> ・肺がん検診受診率が低い ・がんが進行してから発見されている割合が高い <生活習慣> ・喫煙率が男女とも高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の申込みが面倒 ・頭ごなしに禁煙をすすめてもやめられないと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関と連携してがん検診の受診勧奨を行う ・がん検診の受診勧奨を重点的に行うターゲットや検診体制を見直す ・禁煙外来を受診した人へのフォローアップ

◆令和2年度の予定

令和2年度は奈良・西和医療圏のがん対策を「見える化」し、効果的ながん対策の取組の提案を行う

3.がん対策の課題と対策の方向性① 桜井市(胃がん)

3.がん対策の課題と対策の方向性① 桜井市(胃がん)

地域からの意見

たばこ・生活習慣対策

- 特定保健指導対象者に対して禁煙指導や禁煙外来の紹介、減塩指導を実施している。また、総合健診受診者に対しても減塩メニューの配布等をしている。ただし、特定健診の受診率自体が低い。
- がん検診の啓発については商工会と連携した取組が実施できているが、たばこ対策については現在実施していない。
- 食生活に特化した「食生活改善推進員」と、駅前の「健康ステーション」の運営等に協力してもらうサポーターはいるが、がん対策に関する具体的な取組はまだなされていない。

早期発見対策

- 桜井市民は「重症化してからでないかと受診しない傾向がある」という声がある。
- 未受診理由は、「病気で医師にかかっているから」(22.7%)、「面倒だから」(18.0%)の割合が高い。

対策の方向性

たばこ・生活習慣対策

- 青年期・壮年期の喫煙率や高血圧症関連服薬者の割合が高いことから、生活習慣改善の取組に関し、現役世代へのアプローチを強化する(特に男性の50歳代を重点ターゲットとする)。
- 国保部門と保健衛生部門との連携、市と商工会等市内の事業者や関連団体との連携により、現役世代の市民(国保被保険者に限らない)に対して禁煙外来紹介や禁煙指導・減塩指導等を行う機会を拡大する。
- また、女性の標準化死亡比・標準化罹患比が高いことから、女性に特化したたばこ・生活習慣対策(受動喫煙対策を含む)を強化する。
- 「食生活改善推進員」など住民ボランティアとのがん対策における連携を進める。

早期発見対策

- がんの早期発見に向けて、県全体の値と比べて特に検診受診率が低く、罹患者数も増加する層である男性の60歳代・女性の50歳代を重点ターゲットとして定め、がん検診の受診勧奨を積極的に行う。
- 重点ターゲット(特に複数年未受診である者を抽出)に対し、コール・リコールを行う。
- 未受診理由として「病気で医師にかかっているから」が多いことから、地区医師会を通じて、地域の医師に対して市の胃がん対策に関する現状・課題を説明し、患者(特に重点ターゲット)に対してがん検診の受診を推奨して頂くよう依頼する。
- 市広報における検診の案内にて、胃がん特集として、標準化死亡比・標準化罹患比、喫煙率、検診受診率等を掲載する。
- がん・高血圧のリスク要因である食塩の過剰摂取に対して、住民組織を活用した、食環境整備の働きかけを行う。

全体まとめ

全体まとめ

- 沖縄県がん対策推進計画および沖縄県がん診療連携協議会（および部会）の過去の提言や運営方針等と照らし合わせながら、データや情報を収集、定点観測し、がん対策の改善にさらに活用していくことが重要ではないか。
- 沖縄県がん診療連携協議会において、がん対策の進捗管理および評価に力点の比重を移し、毎回アジェンダに入れ、データや資料に基づいて意見交換・検討することが、役割ではないか。